



すぎやま まさよし
杉山 全良 (台東区議会公明党)

元気な18万都市台東区について

問 18万都市を目指すということ、スローガンから責務としたことについて、区長の所見を伺う。18万都市における「調和のとれた適正な人口構成」について、どのように考えているのか伺う。

答 先般の選挙の際に公約に掲げ、区長就任にあたり、改めて「元気な18万都市台東区」の実現への強い思いと責任を実感し、責務として新たな第一歩を踏み出すこととしました。子育て支援を第一の施策として引き続き取り組み、将来を担う若年層の人口を確保し、地域の活力がいつまでも持続できる状態を目指します。**問** 住環境の整備については、人口増対策として、今まで以上に公的住宅や高齢者住宅の供給、新たな住宅支援施策が必要であると考えますが、どうか。

答 「台東区住宅マスタープラン」に沿って、公有地を活用した住宅供給の誘導や、シルバーピアの供給を行うとともに、区民や事業者との連携を図り、住宅の質的向上と良好な居住環境の形成に努めます。

子育て支援について

問 15名が希望する幼稚園に入れず、待機している状況をどう考えているのか。今後、地域バランスを考慮し待機児童がないように対応すべきであると考えますが、どうか。個別外部監査の結果、保育士や保護者から「公立保育園がなくなってしまうのでは」との声があがっているが、現在の検討状況や今後の進め方について伺う。昨年第2回定例会で提案した子育て支援策について、「検討する」との答

弁であったが、商店街の意見を聞いたのか。他都市に先駆けて、提案した支援策を実施すべきと考えるが、どうか。**答** 入園待機児童の解消は、「子育てするなら台東区」の推進において、大変重要なことと考えており、教育委員会に対し、適切に対応するよう伝えていきます。関係各課による検討組織において、様々な角度から検討していきます。今後も、商店街と協力できる方法を話し合っていきます。

高齢化対策について

問 介護保険制度の改正や医療制度改革など、高齢者を取り巻く環境の変化に対して、どのような施策に率先して取り組んでいくのか。

高齢者の視点に立ち、サービスや事業を利用しやすいように「高齢者の手引き」や申請書類の見直しを行ってはどうか。**答** (仮称)新台東病院や、(仮称)清川二丁目福祉施設の整備を進めており、これにより高齢者の医療、福祉に資する施設が一層充実するものと考えています。今後も高齢者施策を積極的に推進していきます。更にわかりやすく、使いやすいものとなるよう工夫していきます。あわせて申請書等の見直しも適宜行います。

いじめ対策の積極的な推進について

問 他の自治体では、第三者機関である「子どもの人権オンブズパーソン」を設置して対応しているところがある。教育長は、本区の状況についてどう考えているのか。また「子どもの人権オンブズパーソン」を本区の施策としてはどうか。**答** 区独自のスクールカウンセラー派遣を、今年度より週2回に増やすなど、予防や解決策など対応について指導・助言をしていきます。第三者機関については、東京都では人権擁護委員連合会が、それに近い取り組みをしていますが、一層有効な対策のあり方について検討します。



もてぎ たかよし
茂木 孝孔 (日本共産党台東区議会議員団)

区政運営のあり方について

問 所信表明において区民の暮らしの実態や区政への想いが触れられていない。区長は、どのような認識を持っているのか伺う。

答 所信表明では、区民生活を支える産業振興の重要性など、私の思いを述べました。地域の実情や特性に応じた主体的、自立的な施策を積極的に展開します。**問** 補正予算案について、なぜ、区民の痛みを和らげる施策を優先して計上しなかったのか。**答** 区民が暮らしがよくなったと実感できる事業を中心に、妊婦健康診査に対する費用助成など、区民の経済的負担の軽減策も含めて予算計上しています。さらに、将来の財政需要に備えるため、財産売却相当額を基金に積み立てたものです。**問** 特別区長会の副会長としてのリーダーシップを発揮し、区民の暮らしに深刻な影響をおしつけている国に対し意見を上げるべきでは。**答** 基礎的自治体として区民生活に密着した施策の充実が図られるよう、国に働きかけます。**問** 区が補助金や助成金を出している団体や、区が発注してきた企業などからの献金は「法に則っているから」で、済むというものではない。きっぱりとやめるべきである。この度の区長選挙において、このような団体からの寄付はなかったのか。**答** 法に基づき適正に処理しています。**問** 区長の退職金制度を廃止すべきと考えるが、どうか。**答** 区政の状況や特別職報酬等審議会の意見などを尊重し、適宜判断します。

問 都区での合区問題に対する現時点での考えと対処について、区長の所見を伺う。**答** 国の議論を注視しつつ、都区の役割分担や税

財政制度など、まずは東京の自治のあるべき姿についての議論を進めたいと考えます。

憲法・平和問題について

問 憲法9条について、また、憲法9条改正について区長の見解を伺う。**答** 国の議論の動きを見守りたいと存じます。**問** 「東京大空襲常設展示場」を建設すべきと考えるが、どうか。**答** 現在のところ考えていません。

まちづくりについて

問 寛永寺・上野公園、谷中の街並みが日本の歴史的風土100選に選定されたことを、区長はどう認識しているのか。また、今後、どのように取り組んでいくのか。**答** 大変嬉しいことであると認識しています。景観法に基づく景観計画の策定を視野に入れながら、景観地区指定等による良好な景観の保全などを検討し、次世代に継承すべき美しい日本の歴史的風土が残る、谷中地域のまちづくりを着実に進めます。**問** 谷中五重塔について、調査費を計上し、都とも連携を図り、再建に向けて動き出すべきと考えるがいかがか。**答** 地域の皆様が先頭に立ち、自ら五重塔を再建・復元しようとしていることは、大変すばらしいことと考えます。区としても、積極的に応援します。

問 東西めぐりんについて、コースの変更や停留所の設置については、できることから早急に対応すべきである。区長が決断し、早急に対策を講じるべきであると思うが、どうか。**答** ルートの変更は、道路幅員や交通規制など、様々な課題があるので、経費等も含め検討します。停留所設置案については、地元の意向を受けて関係機関と調整しています。今後も地元や区議会の意見を伺いながら対応します。

4 以外の一般質問の項目
5 面に掲載したもの

鈴木 茂
(台東区議会自由民主党)

1. 区民との協働、パートナーシップについて
2. 文化観光部について
3. 教育に関する自治体間格差について
4. 危機管理について
5. 学力テスト学校別公開の是非
6. 奨学金について

成澤 敬
(台東区議会区民クラブ)

1. 児童・生徒の体力向上について
2. 「猛暑日」を想定しての防衛・対策について
3. 公園の有効利用について

清水 恒一郎
(台東区議会公明党)

1. 路上生活者対策について
2. 健康教育について
3. 認定こども園について

藤平 一雄
(台東区議会区民クラブ)

1. 介護医療対策について
2. 隅田公園の新名所づくりについて
3. 浅草北部地域対策について
4. 幼児期の情操教育について